

成果の説明書

(氏名) 藻利 衣恵	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>【研究活動】</p> <p>(1) 2017年9月、日本会計研究学会機関誌『会計プロGRESS』第18号(財務会計の規範・記述研究では国内トップ・ジャーナル)に、「株式報酬費用の未費消分に関する会計処理・再考」と題した拙稿が掲載された。</p> <p>(2) 日本会計史学会スタディグループの『簿記論・会計学講義で語るべき会計史』(学会を挙げての会計史に関する教科書の分担執筆)のうち、「自己株式に関する会計史」と、「ストック・オプションに関する会計史」を執筆し、2017年11月の日本会計史学会第36回全国大会(於 佐賀大学)のスタディグループ最終報告で配布された。現在は、教科書出版(本年7月末の〆切)に向け、原稿の加筆・修正を行っている。</p> <p>(3) 日本会計史学会第36回全国大会(2017年11月5日・於 佐賀大学)で、「米国における経営者報酬制度の歴史的変遷」と題し、学会報告を行った。また、その内容を加筆・修正し、「米国におけるストック・オプション制度の歴史的変遷」と題して、『産業経理』第77巻第4号(財務会計のトップ・ジャーナルの一つ)に投稿(招待あり)、2018年1月に刊行された。</p> <p>(4) 昨年業務のため報告できなかった Cost Recognition under the Fair Value Model: Focusing on the Recognition of Stock-based Compensation Cost と題した研究を、昨年12月の現代資本会計研究会(於 名古屋大学)と監査理論研究会(於 東北公益大学)、本年3月の早稲田大学川村義則拡大大学院ゼミと the International Conference on Business, Economics and Information Technology (於 大阪府立大学)で報告した。今後、更なる加筆・修正の上、来年度、The American Accounting Association での投稿・報告を計画している。</p> <p>(5) 佐藤紘光先生・鈴木孝則先生編著の『会計情報のモデル分析2』の第5章「報酬の凸性、会計操作とプロジェクトの継続性 解題」(Laux, V. 2015. Pay Convexity, Earnings Manipulation, and Project Continuation. <i>The Accounting Review</i> 89(6): 2233-2259.)を執筆した。2017年8月に早稲田大学会計研究所契約理論セッションで報告の上、本年2月に完成原稿を提出した。(書籍は、本年5月19日(土)の早稲田大学会計研究所原稿報告会を経て出版される予定である。)</p> <p>(6) 学位申請予定であった論文集のうちの1章「貸借対照表貸方を区分する第三の目的一株式の通貨化とストラクチャリングが区分にもたらす影響」を、日本会計研究学会第77回全国大会(2018年9月3日~6日)で報告し、学外査読誌に投稿予定であり、現在研究を深化させている。</p> <p>※ なお、学位申請前後等の心身不良により、辻山栄子古稀記念論集への寄稿は辞退している。(周囲とも相談済み。)</p> <p>【教育活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 講義：財務会計Ⅰ・Ⅱおよび上級簿記 財務会計Ⅰ・Ⅱについては担当者本人の成長に伴い内容を修正した上で、上級簿記についても、日商簿記検定の範囲改訂に併せて授業内容を全面的に見直した。 ● ゼミ <ul style="list-style-type: none"> ➢ 基礎演習(2年)：今までの経験を踏まえ、スムーズに進んでいる。 ➢ 演習Ⅰ ● 『企業会計入門—考えて学ぶ』の章末 Discussion の解答例を、現在作成している。 	

- 昨年度に引き続き、基礎演習で習得した知識を進化させたうえで、情報収集・分析能力とプレゼンテーション能力を向上させるべく、2 グループに分かれてグループ研究を行った。その結果、日経インナー大会は予選落ちに終わったものの、その際に高レベルなプレゼンテーション作成・発表能力を獲得し、うち1班が2度目の経済学部プレゼンテーション大会で準優勝を受賞、また、3度目の跡見学園女子大学・國學院大學とのインターゼミでは、うち1班が優勝（もう1班は僅差で3位）し1名が個人賞を受賞した。

班	インナー大会	学長杯	インターゼミ
A班	SNSの利用による宣伝効果	SNSの利用による宣伝効果	企業におけるSNS活用とその効果—宝川温泉を題材に
B班	介護業界の人手不足について—薬利ゼミB班のイメージアップ戦略—	介護業界の人手不足について—薬利ゼミB班のイメージアップ戦略—	介護業界の人手不足について

● 演習Ⅱ

自由テーマの論文を全員が提出し、2月卒論発表会を行った。卒業論文集（約400ページ）は、学内で図書館に所蔵し、ホームページでも掲載した。

2 その他の事項

- キャンパス環境委員
- 学部入試運営委員
- 新任人事業績審査委員
- 高崎経済大学生協同組合 特定監事（大学生協教職員交流セミナーへの参加・東京ブロック学生委員を含む）
- 経営学科必修科目「企業と会計」の非常勤講師探し
- 高崎経済大学地域科学研究所 公開講座
- 高崎経済大学地域科学研究所 高崎経済大学地域科学研究所 ニュースレター No.6「私のフィールドノートから」の執筆
- 経済学会 学生懸賞論文 査読（税法）
- 経済学部 教授会後の懇親会 幹事
- 学生用選書／推薦図書コーナー／学習に役立つリンク集 ほか

3 次年度以降の計画・抱負

【研究活動】

- 本年度の成果の報告書(2)の原稿を仕上げる。
- 本年度の成果の報告書(4)の英語報告をより深化させるとともに、報告準備として、**The American Accounting Association** の **Annual Meeting** に出席予定である。
- 本年度の成果の報告書(6)を深化させ、日本会計研究学会第77回全国大会で報告し、学外査読誌に投稿する予定である。

【教育活動】

- 昨年の授業評価アンケートを反映させ、上級簿記の演習問題とその解答を全面的に改訂する。（財務会計については未定。）
- 一昨年度より5年計画で、宝川温泉の外国人旅行客増加に向けて、当ゼミ3年生が宝川温泉のお手伝いをしている。これを本年も継続する。
- 2018年度（12月）は、明治学院大学・跡見学園女子大学・國學院大學との3年生のインターゼミを本学で開催予定であり、その運営を担当する。
- 研究・教育関連の知識を深化させるべく、証券アナリスト（2次）を本年6月に受験予定である。